

(案)

(公印省略)

感疾第30415- 号  
令和8年2月 日

群馬県学校医会長  
群馬県産婦人科医会長  
群馬県小児科医会長

様

群馬県健康福祉部  
感染症・疾病対策課長 武智 浩之

子宮頸がん予防に係る今後の取組について（協力依頼）

平素より、本県の保健医療行政の推進につきまして御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、群馬県においては、HPV ワクチンに関する理解を促進するため、子宮頸がん及びその予防手段である HPV ワクチンについて、関係機関の御協力をいただきながら周知啓発の取組を進めているところです。直近では、令和6年度の接種実績が前年度比2.3倍に増加するなど、着実に成果が見られています。

一方で、民間調査会社が公表した都道府県別の HPV ワクチン接種率において、群馬県は全国39位となっており、引き続き、更なる取組が必要な状況にあります。

接種率上位の自治体においては、医師会をはじめとした関係機関との連携による草の根の取組が成果を上げているとの分析もあることから、群馬県においても、こうした取組の推進に加え、地域における取組体制の整備を図っていきたいと考えております。

つきましては、貴会におかれましても、会員の専門性を活かし、学校への講習提案を通じ、機会を捉えた周知啓発に御協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、本件については、各市町村あて別添のとおり通知しておりますことを申し添えます。

【参考】県が想定している取組例

- ・学校医や専門家として、学校で実施されるがん教育・性教育等の機会を捉え、子宮頸がんや HPV ワクチンについてご説明いただくとともに、可能な範囲で、学校に対し教育の機会確保を呼び掛けていただくこと。
- ・接種対象者やその保護者世代の受診等の機会を捉え、子宮頸がん検診や HPV ワクチンについて御紹介いただくこと。



あなたをまもる手段

問合せ先  
健康福祉部 感染症・疾病対策課  
感染症危機管理室 予防接種係  
電話 027-226-2618